

2019年6月1日

## 腫瘍内科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありませんし、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 十二指腸狭窄を有する切除不能膵腺癌を対象とした初回化学療法導入前の狭窄解除方法に関する多施設共同後ろ向き観察研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属]

奥山浩之 がんセンター 助教

この研究は、千葉県がんセンターを主幹機関とする多施設共同研究として行います

[研究の目的]

切除不能膵癌と診断され、十二指腸狭窄に対して消化管ステント挿入術あるいは胃空腸バイパス術を施行された患者さんを対象とし、化学療法の効果や経過について調査することで、ステントやバイパス術が治療経過にどのような影響を与えるかを調査します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

切除不能膵癌の患者さんで、消化管ステント挿入術または外科的胃空腸吻合術を実施した方

○利用する検体・診療情報

診療情報：年齢、性別、全身状態 (ECOG PS)、閉塞性黄疸の有無、経過、処置前の腫瘍の状況、胆道ドレナージ術施行の有無、血液検査結果、十二指腸狭窄に対する処置、化学療法の種類・経過

[外部への検体・診療情報の提供]

利用する本学所持の診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送を使用して、下記の研究組織へ提供します。

[研究組織]

石川県立中央病院 辻 国広  
千葉県がんセンター 辻本 彰子  
杏林大学医学部附属病院 岡野 尚弘  
四国がんセンター 浅木 彰則  
松山赤十字病院 畔元 信明  
(2019年5月8日現在)

[研究代表者]

千葉県がんセンター 石井 浩

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院がんセンター 担当医師 奥山浩之

電話 087-898-5111 (代表) FAX 087-891-2296